

## 演題

難治性心室頻拍が出現し、塩酸ニフェカランにて QT 時間が延長した一症例

県立日南病院臨床検査科

佐野亜由美 鞍津輪優子 生島一平

### <はじめに>

QT 時間の延長は心室頻拍（以下 VT）をひきおこし、早急に停止させなければ致命的となることがある。今回 VT が長時間出現し、除細動と塩酸ニフェカランの使用で、洞調律に復帰したが心電図上 QT 時間が延長した症例を経験したので報告する。

### <症例・経過>

47 才 男性。胸部苦悶感があったが 10 日間放置。心筋梗塞、心不全が疑われ入院となった。発症 14 日後 VT が出現し、除細動計 14 回おこなったが、一時間半もの間持続した。除細動後、塩酸ニフェカラン 15ml 静注したところ、洞調律に復帰したが、QT 時間延長が出現した。

### <考察>

この薬剤は心筋細胞膜の  $K^+$ 電流を抑制することで有効不応期を延長させ抗不整脈作用を示す。副作用として、QT 時間延長、心室頻拍が出現することがあり、心電図監視が重要となる。日常検査をする上で、患者の臨床情報を把握しておくことが重要と考える。